

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL. 25 2010年3月1日 発行

## “エコな～らライフ宣言” 植樹ツアーを実施しました

去る平成21年11月14日(土)奈良県立野外活動センターにおいて平成21年度奈良県環境県民フォーラム事業の「植樹バスツアー」を実施しました。この事業は5～9月の間に「エコな～らライフ宣言」をしていたいただいた県民の皆様の宣言総量(co2削減総量)に応じて植樹を行うもので、今年度は1000な～らあたり1本の予定で「エコな～らライフ宣言」を募集し意識啓蒙活動を展開してまいりました。

その結果、371世帯、27,271な～らの宣言があり、27本の植樹をおこなうこととなりました。

宣言された方々に「植樹バスツアー」をご案内し、応募された9組25名の方々とともに、奈良交通さんの貸切バスによりJR奈良駅～近鉄奈良駅～天理駅を經由して奈良県立屋外活動センターに到着。

冒頭、奈良県環境県民フォーラムの松村代表から「今回の植樹は宣言されたco2の削減量(な～ら)に応じて行うもので、今回は多数の方々に宣言していただいた。家庭での省エネ活動は地味で中々実感できないものではあるけれど、一人一人の小さな積み重ねを続けていくことが大切」との挨拶の後、植樹を開始。前日の雨の影響を心配しましたが、植樹の際は曇空で少し肌寒い中、参加者全員で手分けをしながら「コブシ・モミ・ケヤキ・カシワ・ヤマモモ・ウバメガシ・トチノキ」を楽しく植樹をすることができました。

その後、野外センターのラウンジに場所を移し、薪ストーブの暖かさに包まれながらクラフト作り



挑戦。参加者の皆さんは木々の切れ端、松ぼっくり、木の実を巧みに組み合わせ、それぞれ個性豊かな作品を作ることが出来ました。昼食の後、もう一つのメイン行事の「バームクーヘン作り」に挑みました。これは、炭起こしから生地作りまで参加者で行うもので、準備段階からあ

一でもない、こうでもないと賑やかにスタート。長めの竹串に生地を塗りつけ炭火にかざしくるくると回し、焼ければまた生地を塗り炭火にかざし



…を繰り返し、完成すれば洋菓子店で見かけるバームクーヘンが出来上がりと思いきや…でこぼこいびつなオリジナルクレープの出来上がり。でも味は

最高！！

昼食後のデザートでおなかも満腹のところ野外センター職員の方のご案内で裏山の散策に出発。この頃には晴れ間も見えだし、ぽかぽか陽気の中、木々の説明や展望台での眺望に歓声を出しながら帰路のバスへ移動しました。秋の一日有意義に過ごすことが出来、参加者からも「また来年も参加したい」とのお声も上がっていました。参加された皆さんお疲れさまでした。

(関西電力株式会社 新宅)

### 今年もやります！

※本事業は瀬戸内オリーブ基金の助成を受けて実施しました。

今年も4月1日より、エコな～らライフ宣言の募集を開始します。宣言の締切は9月30日。今年も是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！  
宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信(0742-22-1668)
2. 宣言 web サイト((4月1日オープン)から宣言



# 大気分科会

## ～鍋帽子で手軽にエコ！ 省エネで、手間いらず、冬のあったかおもてなしメニュー～

1月21日、奈良市五条にある“奈良友の家”で鍋帽子を使った省エネで手間のかからない料理講習会を開催しました。

今年で5回目となった今回は、「冬のあったかおもてなし」をテーマに“茶碗蒸しピリ辛ひき肉あん”や“紅焼肉（ホンシャオロウ）”、“ポテト茶巾”など5品の調理に取り組んでいただきました。

調理実習の前に、奈良友の会さんから「家庭でできるCO2削減

～ちょっとトクするエコの話」と題したエコ講座を開催、家庭からのCO2排出量のデータや光熱費の領収書から排出量を計算する方法など奈良友の会さんならではの講演となりました。

参加された方はじめ、大気分科会の「メンバーも改めて環境保全の必要性和一人ひとりが環境を意識した日常生活を送ることの大切さを認識しました。

鍋帽子の効用のポイントを紹介すると、「光熱費の節約になりCO2が削減できる、100℃以下の保温は素材の味を活かす、焦げたり形が崩れたりすることなく香りも逃がさない、保温中は手が空くので他のことができる」など、簡単で安全、しかも手間が省けるまさに一石三鳥の優れたものです。

当日は、奈良テレビの取材があり、その夜の県政フラッシュで紹介されました。（大阪ガス株式会社 中村）



“鍋帽子”に関する問い合わせ先 **奈良友の会**

所在地：奈良市五条1丁目18-12 TEL：0742-43-7787（平日の 9：00～17：00 でお願ひします）

# 自然環境分科会

## 宇陀会場

## 親子自然体験講座



葉っぱのカルタ

11月28日（土）、宇陀市榛原区八滝にある冒険遊び場「ひーとびーとの森」で約20人がネイチャーゲームを楽しみました。輪になって自己紹介の後、じゃんけんに勝ったら落ち葉を拾えるゲーム。次に集まった落ち葉をつかった“カルタとり”。子どもも大人も真剣勝負となりました。

“動”のゲームの後はひっそりとした晩秋の森を感じる“静”のゲーム。

それぞれの額の中に、森の中の好きな風景を収めて「作品」に。参加者の数だけ「作品」が「展示」されている「森の美術館」が出現したところで、ほのぼの作品から問題作までバラエティ豊かな作品をみんなで鑑賞しながら参加者同士の交流を深めました。（ほっとねっと 寺前）



私の作品鑑賞

## 天理会場

11月29日（日）、布留川の源流域にあたる天理市上仁興町にある「水源の森」で環境市民ネットワーク天理と奈良県環境県民フォーラムの共催での開催しました。水源の森では、黄色があざやかなコシアブラや葉っぱやムラサキシキブのきれいな紫色の実、ツルリンドウの赤い実も見られました。

市民の水瓶でもある布留川の上流は、ダム周辺へのごみの不法投棄や残土の埋め立てなどが原因で最近汚れがひどくなっています。私たちは、きれいな水が流れる布留川になるように、荒れた山林への植樹など森を守る活動をしてきました。また、地元産の農作物の購入を通して、周辺の里山の保全にも協力しています。

今回は、水源の森でササなどの下草刈り作業の後、クズやアケビなどのつるかご作りにチャレンジ。昼食は地元産で肉厚のシイタケなど具たくさん豚汁がとても美味しく体が温まりました。地元の乾さんからは、シイタケや、植菌されたクヌギの木を分けていただきました。どんなシイタケがでてくるか楽しみです。（環境市民天理ネットワーク 久保田）



水源の森での作業風景



きのこ鍋でおなかいっぱい！

# 水環境を離れて?見学会

平成 21 年 10 月 28 日(水)に、水分科会は(財)地球環境産業技術研究機構に行きました。

大和川流域をフィールドにした水環境への活動なのに、なぜ地球？

この年の夏は、大和川の下流・河内橋付近で、上下流の子どもたちが交流して河川環境を学ぶ『川の教室』を開催したのですが、ゴミの発見や水量の変化から、水の問題だけではなく廃棄物や天候異変まで、環境のことは幅広く関係していることに改めて思いを巡らすことになりました。

それで、雑学を好む？メンバーも多く、水環境の領域を超えて京阪奈学研都市に出かけた次第です。

地球環境産業技術研究機構(RITE)では、地球温暖化のメカニズムやその悪影響についての最新の科学情報、そして、世界の最先端に行く日本の対策技術について、同研究所内を見学させていただきながら説明を受けました。「いろんなことをしているんだなあ」という感想です。

ちなみに、「今すぐに対策しなければいけない」と言われて「地中での CO2 吸収技術」と「バイオテクノロジーでの微生物回収技術」は、これからも研究が続くそうです。

また、大和ハウス総合技術研究所と、創設者の石橋信夫記念館も見学しました。研究所では、耐震や耐火、もちろん省エネなどの体験とともに、モデルハウスなどを楽しみました。

それと、記念館では、吉野で生まれた石橋さんの「自然への畏敬の念」が説明されていて、これに対して、改めて水環境の大切さを思い起こしたのは、さすがに水分科会のメンバーです。

そこで、今年の「川の教室」は、少し学びを加えるとともに、佐保川など新たな場でも活動していくよう、検討していくことになりました。

環境問題への取り組みは、地道であって気長に続けることを、この見学会は教えてくれました。

(カウンセラー協会 吉田)

## ごみ減量・リサイクル分科会

# エコ見学会報告

「循環資源利用健康推進事業合同会社(所在地:奈良県橿原市一町)」に見学に行きました

日時:2009年11月17日

会社紹介:食品リサイクルに取り組みトレーサビリティの特殊肥料製造から有機農業推進者の手助けと安全安心な農産物の生産流通を構築し、国内食料自給率の向上へ奈良から地産地消を推進。

さらに、農業を通じて地域の活性に務め、社会貢献を目指しています。

食品リサイクル

- (1)スーパー、レストランから分別された生ゴミ(食品循環資源)を回収する。
  - ・肥料に適した生ゴミの割合;動物性たんぱく質 40%、野菜のくず 40%、賞味期限切れ廃棄食品 20%としている。
  - ・毎回何キロ出ているか、チェックしバックデータを持っている。
- (2)特殊車両トラックに食品循環資源(生ゴミ)を投入、加工する。
  - ・トラックの特徴として一回で1トンの生ゴミを回収できる。1日に午前午後で2トン回収できる。
  - ・速くて約90分で混ぜて粉碎することができる。
- (3)良質有機肥料の生成。熟成と保管。
  - ・約30~50日おいておくことによって、土壌菌によって自然発酵、自然乾燥する事ができる。
  - ・ミネラルが多い肥料。もみがらを足して水分調節している。トレーサビリティ重視。
- (4)有機肥料を県内の会員農薬に会員特典で提供している。
  - ・安心安全に拘る農家に限り会員制にして、提供している。
  - この肥料を使うと昔ながらの濃い味と香りの野菜ができる。トマト、ほうれん草、ピーマンなど
  - ・目指すのは土作り。ミネラル豊富、根が吸収、おいしい良いものが作られる。アトピーなどにも良いとされている。
  - ・科学肥料と科学農薬使用削減によりCO2削減に貢献している。
- (5)こだわり農家から安全安心農作物を収集する。(安全安心農産物流通グループ:サムズ)
- (6)栄養豊富でおいしい野菜を納品。→そして(1)に戻っていくリサイクルシステム。

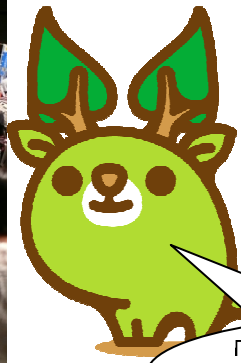
(ならコープ 渡辺早苗)

# 環境フェア 報告！

日時：平成21年9月22日（火）

10時～16時

場所：なら100年会館



「な～らちゃんストラップ」も好評でした！



今年『なら100年会館』で「ぱーぷるエコフリーマーケット」と同時開催し、約3000人の方にクイズやゲーム、体験などを通じて環境についての啓発を行いました。フォーラムでは各分科会のブース以外に「エコな～らライフ宣言」コーナーを設置し、家庭でできる地球温暖化対策についての啓発を行い、沢山のの方に宣言をいただくことができました。また、昨年度に続いて行われた「小中学校取り組み発表会」は来場者の関心も高く、立ち見が出るほどでした。来場者アンケートでは多くの方に「今後環境を意識した生活を心がける」という意見をいただきました。今後も地球にやさしい生活について考える良いきっかけづくりとなるようなイベントとしていきたいと思っております。出展いただいた皆様ありがとうございました

（事務局 小川）

## “暮らし”と“環境”フェスティバル

日時：平成22年4月3日（土）4日（日）

場所：奈良県文化会館（奈良市登大路町）

内容：講演会やキャラクターショー、県内企業、団体の展示など参加型イベント。入場無料。豪華プレゼント抽選会など。

問合：暮らしと環境フェスティバル実行委員会  
（奈良新聞社内：0742-32-2112）

奈良県環境フォーラムも参加します！！  
「エコな～らライフ宣言」の募集はもちろん、各分科会の活動紹介など、エコ生活に関する情報満載で二階小ホールで展示します。  
皆様のご来場をお待ちしています。



## 環境講演会



日時：平成22年4月16日（金）

場所：奈良県文化会館  
（奈良市登大路町）

講師：清水順子氏  
（サークルおてんとさん）

フォーラム会員以外の方も参加できますので、是非ご参加下さい。

申込・お問合せは

下記フォーラム事務局

まで

### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは、賛助会員として活動を支援いただく企業、団体等を募集しております。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますようお願い申し上げます。

### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネクッキングなど）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp